

地方議会って何しているの？ 何ができるの？

第9回

くまもと自治体学校

4月の統一地方選挙では、県内すべてで投票率が低下、9つの町長・町議選では無投票となり、議会及び自治体の存在意義が問われています。

本来行政は住民の困りごとを解決する役割があり、議会は行政と住民とをつなぐ役割が求められ

ていますが、それは機能しているのでしょうか。

今回の学校では、どのように行政・議会への住民参加を広げ、住民のための自治体づくりをすすめるか、住民・議員・自治体職員とともに考えます。

日時 2023年**10月8日**（日）10:00～16:00

場所 **益城町保健福祉センター はびねす 多目的室**
（上益城郡益城町惣領1470番地）

一部
ZOOM可

参加費 **1,200円（会員1,000円）** ※当日入会の方も会員割引いたします。

記念講演

10:15～

ZOOM
可

住民は議会に何を求めるか

～「声を出さない住民」「存在感が薄い議会」を変えるために～

講師 **伊藤 洋典氏**（熊本大学法学部教授・政治学）

地方議会が住民主体の政治の舞台となるように再生するには何が必要か。議会、住民、行政の三者の関係を、独自の豊富な研究資料とアンケート結果からわかりやすく整理します。

分散会

13:00～

4つの分散会毎の事例報告をふまえて、どのように行政・議会への住民参加を広げ、住民のための自治体づくりをすすめるか、みんなで一緒に考えます。

月
日
（日）
日直

…… 議会傍聴のススメ ……

あなたの町の議会では、どのような議論がされているか、議員・町執行部がどのような姿勢で議会・行政運営にのぞんでいるのか、知っていますか？自治体学校を前に9月議会を傍聴し、何を見て、何を感じたかを持ち寄りましょう。

分散会詳細・お申込みは裏面へ ⇒

主催 NPO法人くまもと地域自治体研究所
熊本市中央区神水1丁目30-7 コモン神水
Tel・fax 096-383-3531
mail km-tjk@topaz.ocn.ne.jp